

# 先輩研修医の声

令和2年5月

幡多けんみん病院での臨床研修が始まってから早くも1年が経ちました。最初は分からないことばかりでしたが、先生やコメディカルの方々に教えていただき、少しずつできることが増えてきました。毎日の診療の中で患者さんを不安にさせてしまったり、迷惑をかけてしまったりしたことも多々あったと思います。しかし、そのたびに患者さんから「何度でもやりや」「頑張りや」と励まされ、不安が少しずつ自信に変わりました。医師として期待されていることを忘れず、信頼を裏切らないよう責任感を持ってこれからも日々精進したいです。

また、少しずつできることが増えていく一方で、医師としての知識や経験、勉強不足を痛感することや、責任や恐怖を感じることも多々ありました。研修中に困っている時は、日常の業務で忙しい中でも先生やコメディカルの方々が熱心に指導してくださり、本当に恵まれた環境で研修ができていくことに日々感謝をしています。初期研修があと1年で終わると思うと不安ですが、残された時間がより有意義なものになるよう、新たな気持ちで研修に取り組みたいです。

医師としても人間としてもまだまだ未熟ですが、残りの1年間で知識や技術を今まで以上に身に付け、幡多地域の医療に貢献できるよう、また医師として成長できるよう日々努力していきます。これからも幡多地域の方々の協力のもとで研修ができることに感謝しながら、日々精進していきたいです。

【初期臨床研修医2年目 川口彩乃】



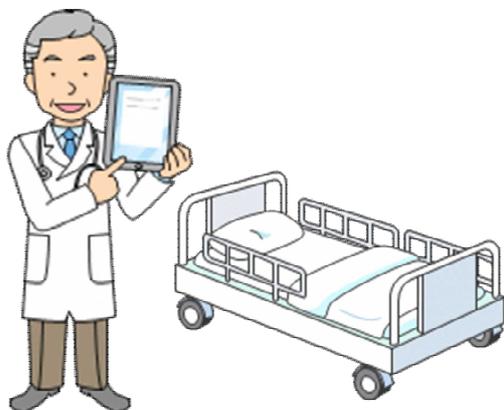
幡多けんみん病院での研修も1年が経ちました。去年はたくさんの患者さんと接することができ、先生方、コメディカルの方々、患者さんに育てられた1年間でした。初めての臨床の現場で何も分からないまま始まった初期研修でしたが、症例、手技、薬の使用方法など、分からないことがあつたらすぐに誰かに聞ける環境だったので、慌てず落ち着いて学ぶことが出来たと思います。また、飲み会やバーベキューなどプライベートで交流する機会も多く、科をまたぎ多くの先生、コメディカルの方と仲良くなれるきっかけがあつたため、何か質問をしたい時など気軽に話しかけることができました。

今年は去年経験させていただいた内容を生かしながら、2年目だからこそ出来るような研修内容にしたいと思います。

【初期臨床研修医2年目 中前杏】

# 先輩研修医の声

令和2年5月



幡多けんみん病院での研修が始まって一年が過ぎました。初めは分からないことだらけで右往左往しているうちに、あっという間に研修医二年目になったような気がします。先生方やメディカルスタッフの方々には本当にたくさんのことを教えていただきここまで来ることができました。最初はできないことが多すぎて時には辛くなることもありましたが、繰り返し指導してもらう内にもっと挑戦したいという気持ちに変わっていきました。色々なことにトライさせてくれるこの環境がとても有難いです。幡多弁にも慣れてきて患者さんとのコミュニケーションも楽しめるようになりました。でも研修医としてはまだまだ未熟で悔しい思いをすることも多いです。この悔しい気持ちを糧にこの1年もけんみん病院で勉強していこうと思います。

また4月からは後輩もできて一層身の引き締まる思いです。私が一年目だった時に先輩にたくさん教えてもらったように、私も研修医だからこそ伝えられることをこの一年でしっかり伝えられたらいいなと思います。残り1年もよろしく願いいたします。

【初期臨床研修医2年目 安崎恵理】

研修医として、高知大学医学部附属病院で1年研修をした後、今年度は幡多けんみん病院で研修させていただくこととなりました。昨年1年間は仕事に慣れることに精一杯でしたが、患者さんと触れ合い、指導医や医療スタッフに支えていただきながら様々なことを学習しました。患者さんの病態を理解しスタッフと情報を共有する力に関してとても力をつけることができたのではないかと思います。

幡多けんみん病院は高知県西部の医療を担っている重要な病院ということで、基礎疾患を持った患者さんから急性期の緊急的な治療が必要な患者さんまで幅広い診療をする必要があります。幅広い視点と適確な医療を選択するため、そして患者さんにより沿った医療を行っていくには、病院全体で助け合っていく必要があると思います。なので自身が幡多けんみん病院の一員として皆さんのお力になれるよう、上級医の先生方やメディカルの皆さんと共に精一杯頑張っていきたいと思います。

そして、この2年間で2つの病院を基点として研修させていただくことで、両病院の良いところを取り入れた医療ができればと思っています。

【初期臨床研修医2年目 尾崎一規】

